

平成31年度島根大学大学院
教育学研究科入試問題（I期）
《臨床心理専攻（修士課程）》
専門科目（臨床心理学）

注 意

1 問題紙は、指示があるまで開いてはならない。

2 問題紙 4 枚、解答用紙 6 枚、下書き用紙 1 枚である。

指示があつてから確認し、解答用紙と下書き用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。

3 解答は、解答用紙に清書すること。

4 問題紙は、持ち帰ること。

受験番号

《臨床心理専攻》

専門科目 問題

1. 次の各問に答えなさい。

問1：次の各記述の括弧にふさわしい言葉を、解答欄に記入しなさい。また、各記述と最も関連のある人物名を四角内から選び記号で答えなさい。

- ① (a) は 1932 年に創始された自己催眠法の一つである。手続きとしては、リラックスした姿勢で四肢の重感、四肢の温感、心臓調整、呼吸調整、腹部温感、額部涼感の順に進めていくとされる。
- ②風景構成法の標準的な実施手続きでは、川、(b)、田、道、(c)、木、人、(d)、動物、石の順に項目が示される。
- ③心理療法においては、場面設定などの外面的な要因と、治療契約や心理療法家－クライアントの関係などの内面的な要因とが、治療過程を規定するという考え方がある。こうした考え方は、(e) と呼ばれている。

(ア) 土居健郎	(イ) Selye, H.	(ウ) 河合隼雄
(エ) Schultz, J.H.	(オ) 中井久夫	(カ) Lazarus, R.S.
(キ) 小此木啓吾	(ク) Freud, S.	

問2：次の言葉が意味する内容について、それぞれ解答欄に説明しなさい。

- ④タラソフ事件
- ⑤知性化

2. 心理アセスメントに関して、以下の問いに答えなさい。

問1：YG 性格検査 (矢田部ギルフォード性格検査) において、類型論と特性論の考え方がそれぞれどのように用いられているか、記述しなさい。

問2：WISC-IVにおける4つの指標について、それぞれの名称を答えなさい。また各指標が知能のどのような側面を測定するものであるのかについて、説明しなさい。

問3：ロールシャッハ法における投射 (projection) の仕組みについて、どのような刺激によってどのようにして反応が生じると考えられているか、説明しなさい。

《臨床心理専攻》

専門科目 問題

3. 以下の事例を読んで、各問に答えよ。

<事例>

あなた（以下セラピスト）は大学附属の心理相談室で、(1) 場面緘黙・不登校傾向の小学校2年生女兒（以下A）のプレイセラピーを担当することになった。

入室したAは、スムーズに母親と離れることができ、プレイルームに入室した。しかし、入り口付近で立ち止まり、そのまま動けずにいた。セラピストがプレイセラピーへの導入として(2) _____と伝えるが、(3) Aはただ下を向いて立ち尽くすのみであった。

その後、Aはプレイルームに置かれた(4) 箱庭に興味を持ち、砂を触った。その後、熱心に砂山を作ったり、砂の中に腕を埋めたり、砂山にビー玉を埋めては山を切り崩し、砂から掘り出したりした。初回の最後に、セラピストが〈どうかな、また今日みたいにここに遊びに来ない？〉と誘うと、やや時間があってから、Aはかすかにうなずいた。そして、週に1回のプレイセラピーが開始された。

その後、数か月ほどのプレイセラピーでは、Aは入室直後はしばらく動けないことが続き、喋ることもなかったが、箱庭で遊んだりする他、徐々に卓球などをしたりして過ごすようになった。Aは身体運動は得意なようで、卓球では時折鋭いスマッシュを放ち、セラピストが対応できずに転んでしまうと、こらえきれずクスクスと笑い声を漏らすことがあった。

そんな中、ある日のセラピーでAは、急にプラスチック製のチャンバラの剣を2本とり、1本をセラピストに渡して、真剣な顔で中段に構えた。セラピストが突然のことに戸惑っていると、(5) Aはいきなりセラピストに切りかかってきた。

問1：下線部（1）について、知り得ていることを述べなさい。

問2：下線部（2）に入るのに適切なプレイセラピーへの導入の具体的な言葉を、実際にAに話しかけるつもりで口語体で述べなさい。

問3：下線部（3）のような状態のAに対して、あなたが実際にどのような言葉をかけるのか、どのように行動をするのかについて、具体的に挙げて説明しなさい。

問4：下線部（4）について、知り得ていることを述べなさい。

問5：あなたは下線部（5）のような状況において、どのように対応するか。具体的に述べなさい。

《臨床心理専攻》

専門科目 問題

4. 以下の事例をふまえた上で設問に答えよ。

＜事例＞

あなたはBくん（9歳 小学4年男子 以下、Bと記載。）のカウンセリングを担当することになりました。

Bは小4の5月頃から a. 自分で自分のまゆ毛やまつげを抜く症状が見られるようになりました。 B自身はあまりそのことを気にしていない様子でしたが、心配したお母さんが夏休み中に相談申込みをしてBを連れて来談してきました。

初回面接でのBくんは、まゆ毛の眉がしらの一部分がまばらになっていて、まつげに関してはほとんど生えていない状態でした。

あなたは、Bに「何か困っていることはある？」と尋ねましたが、Bは「ないよ。」と即答します。＜今日はお家の人に何って言われてきたの？＞と聞くと、Bは「なんか、遊べるよって（言われた）。」と答えます。 b. あなたは事前にBの症状について情報を得ていましたが、Bのまゆ毛やまつげといった外見的な事柄について直接話題にするのは、なんだか気が引けてしまって話題に触れることが出来ませんでした。その後、そのことには触れないまま、ボードゲームやボール遊びなどをして面接回数を重ねていきました。Bは来談すると楽しく遊んでいるので、担当者のあなたも特に困ることはありませんでした。

ところが、初回面接から約半年が過ぎようとした頃、 c. 突然Bはあなたに「ねえ。もうここで遊ぶの、やめていい？」と聞いてきました。理由を尋ねると、「家でゲームしたいから。」と言います。しかし、Bのまゆ毛とまつげはますます減っているため、あなたは面接を継続した方が良いと感じています。

問1：下線 a. について

①下線 a. に見られる状態像のことを と言う。また、「ト」から始まる別称もあり、 と呼ばれることもある。

に当てはまる言葉を述べなさい。

②下線 a. に見られる状態像について、あなたの知り得る事柄を出来るだけ詳しく説明しなさい。

問2：下線 b. について

①Bのケースにおいて、初回面接で主訴を扱わなかったことのメリットとデメリットについて、出来るだけたくさん挙げなさい。

②下線 b. に見られるカウンセラーの対応について、総合的に見て、あなたはどのように評価しますか。またそのように評価した理由も踏まえて、あなたの考えを述べなさい。

問3：下線c.について

下線c.の場面において、あなたはBに対してどのような言葉で応えますか。具体的な文言を口語体で述べなさい。その際、Bが来談を継続した方が良いと考える根拠についても記述しなさい。